



「恕の心」と「五常の心」 校長 吉鶴 修

先日、防府市の小学校を2校、訪問しました。2校ともに校門近くに二宮尊徳翁の像がありました。わたくしが小学校の頃は、先生から「二宮尊徳のように・・・」と、勤勉の象徴のように言われて育ちました。

これまで、子どもたちに「思いやり」の大切について、全校朝会等でお話をしてきました。今回は、二宮尊徳翁の「思いやり（仁）」と「恕」の違い、について書いてみたいと思います。

家の不幸から親戚の家に預けられて育った尊徳翁は、朝暗いうちから夜遅くまで、汗と泥にまみれて一生懸命働き、わずかな時間も無駄にせず勉強に励んだその姿が、薪を背負い、本を読む姿として像になって多くの学校の正門付近にあると聞きます。

尊徳翁が薪を背にして読んでいる本は、何という本でしょうか？中国の古書『大学』です。読んでいる箇所まで、ご存じの方はおられますか？そこには、次のように書かれています。「一家仁 一國興仁 一家讓 一國興讓 一人貪戾 一國作亂 其機如此」とあります。わたくしも、かなりの数の尊徳翁の像を調べました。全て、この箇所でした。もしくは、何も書かれていない尊徳翁の像もありました。訪問した防府市の2校の尊徳像は、一校は確かに、この箇所でしたが、一校は何も書かれていませんでした。「一家仁なれば一國仁に興（おこ）り、一家讓（じょう）なれば一國讓に興り、一人（いちにん）貪戾（たんれい＝貪欲）なれば一國乱（らん）を作（な）す。其機（そのき）如此（かくのごとし）」と読みます。意味は「一家が思いやりや慈しみの心を持てば、国中の人々がその心になり、一家に謙虚な気持ちが満ちあふれれば、国中の人々がその心となる。一人ひとりが自分だけの利益だけを考えて、間違っただけをすれば、国中の人々はその心となって社会は乱れ、人々は争い始める」ことを教えています。家庭にも、国においても「思いやり（仁）」や「謙讓（讓）」の心が必要であることを説いています。学校や学級においても、集団の基盤をなす絆として大切にしたいと思います。

また、『論語』衛靈公（第15-23）には、「一言で一生涯行っていくに値する言葉はあるか」という子貢の問いに対して、孔子は「其れ恕か」と答えています。このことも、子どもたちにお話をしました。

「恕」とは「思いやり」ということですが、「仁」との関係で言えば、「恕」は「仁」を一步進めて「許す」という意味を内包しています。ただし、何でも許せばよいわけではありません。闇雲に許すことは、世の中の秩序を乱し、生活を脅かすこととなります。

「恕」の実践には、その根底に哲学が必要です。その哲学こそ、論語で説かれている「仁・義・礼・智・信」、つまり「五常の心」です。「恕」とは、「相手の心を察しているか（仁）」「正義に則っているか（義）」「秩序を乱さないか（礼）」「正しい知識に基づいているか（知）」「信頼関係が成り立っているか（信）」、これらを自らの心に問い、その上での「恕」です。「恕の心」と「五常の心」は一對であり、決して忘れてはならない心と言っても過言ではありません。

子どもたちに以前話したディズニーランドのレストランの話も、「五常の心」を根底に、「恕の心」に基づいたある経営者の判断だったのでしょう。

自分の言動を五常の心を指標に、時々、胸に手を当て振り返って見ることも、自分の人生をより豊かにしてくれるものと思います。



二宮尊徳翁



参観日ありがとうございました！



10月28日(木)・29日(金), お忙しい中, 多数ご参観いただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染症対策として, 今回も2日間に分けての授業参観とさせていただきます。子どもたちは, 保護者の方々に見ていただけるということでいつも以上に張り切って学習に取り組んでいました。今回の参観日においても, ご参観いただく日の指定や人数制限など, 多くの制限や約束事にご協力いただきありがとうございました。



自然体験学習に行ってきました！(4年生)



11月1日(月)に, 4年生が国立山口徳地青少年自然の家で自然体験学習を行いました。午前中は, 焼き板細工を行いました。薪を割るのも, 火を起こすのもグループで協力して取り組んでいました。焼き板を仕上げる時にも早くできた子が友達の手伝



いをする場面も多く見られました。午後はフィールドビンゴを行いました。徳地の自然の中にある様々なものをみんなで探しました。どちらの活動も一人ひとりができることを考えながら協力して取り組みました。施設の指導者の方から「とてもすばらしい4年生ですね。」と何度も褒めていただきました。



宿泊学習！(5年生)

5年生は, 11月1日(月)・2日(火)と国立山口徳地青少年自然の家で宿泊学習を実施しました。1日目の午後は, TAP(徳地アドベンチャー教育プログラム)を行いました。これは, グループの仲間と協力して様々な課題の達成をめざすものです。上手いかないときもあれば, 上手くいくときもあります。仲間と話し合いながら一つひとつの課題に取り組んでいきました。3時間という長時間の活動でしたが, あっという間に時が過ぎるくらいどのグループ



も真剣に取り組み, 大きな達成感を得ることができました。1日目の夜は天体観測でした。夜空がとてもきれいで, 木星や土星などを天体望遠鏡で見ることができました。また, 何度も流れ星を見ることもできました。2日目は, グループで協力しての野外炊飯, カレーづくりを行いました。自分たちで作るカレーの味は格別でした。後片付けに苦戦しましたが, これもみんなで協力してやり遂げました。天候にも恵まれ, 大自然の中, 仲間と協力した充実の2日間となりました。

11月の主な行事予定

16日(火) クラブ⑦・3年クラブ見学 SC 来校 23日(火) 勤労感謝の日
26日(金) 幼小中一貫教育実践研究発表会 児童下校 11:20 30日(火) 委員会⑧ SC 来校